

## 会議名 第28回ニセコ町観光戦略会議

開催日 平成24年11月6日	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 9:00
会議場所 ニセコ町役場 第2会議室	記録者	商工観光課観光戦略推進係 主任 川埜 満寿夫
出席者 委員：渡辺委員、片岡委員、樫原委員、宮崎委員、服部委員、関委員、木下委員、葛西委員 事務局：山本商工観光課長、小椋観光戦略推進係長、川埜主任		
欠席者 委員：加藤委員、大久保委員、瀧澤委員、北島委員、吉村委員		

### 会議日程

### 報告事項

- (1) 観光振興計画の改訂に係るWGの開催状況について 資料1  
(2) ニセコ観光局について 資料2

### 協議事項

- (3) 道の駅ニセコビュープラザの今後について 資料3

### 会議内容

- (1) 観光振興計画の改訂に係るワーキンググループの開催状況について  
事務局から、資料1に基づき説明。  
(主な意見(地域資源の活用))
- ・子どもが遊べるスペースとあるが、確かに施設が少なくなっている。
  - ・バーベキューについては、観光客も町民も楽しめる場所がない。他では有料で行っているところもある。
  - ・尻別川があるのに、町内では水辺で遊ぶ、親水スペースがない。
  - ・宿泊施設でのBBQセットの貸出はそれなりにある。
  - ・ニセコルールでのゲートごとの難易度表示は良い案だが、併せて、どこで誰がどのように伝えていくのかも併せて検討してほしい。  
→(委員)ゲートの外にも看板が必要では。  
→(委員)雪崩事故防止のためのゲートでなく、雪崩に関係ない場所にもゲートを設置していると思われる箇所がある。ゲートがスキー場の責任回避のために使われているのではないか。  
ゲートの外で危ない所はたくさんある。ゲートの外の情報もある程度は把握し、ゲートでしっかりと情報(雪崩だけでなく、コブなどの雪面の状態、木の乱立状況)を伝える必要がある。  
→(委員)ゲートを通ることが怖いことで、ゲートの外は危険だということが薄れてきている気がする。まず、危険であること、警戒してもらうための周知が必要では。

- （役場）なだれ事故防止対策協議会で、出された意見も含めてこれまで何度も話し合ってきている。情報を出しすぎると情報に偏って逆に安易に出て行ってしまおうという意見もある。バランスを取るのが難しい問題。その都度、いろんな視点の意見をいただきながら進めている。協議会へは、今回の議論の内容を伝えていく。
- （委員）現在、こうした情報を扱っているのはガイド。「ガイドと一緒に出る」ことを通常化していくのが良いのではないか。刻々と変化していくゲート外に対して、安全宣言を行うことの危険性もある。
- （委員）ニセコルールの基本は、安心・安全にニセコを楽しんでもうためのものと考えるので、情報の出し方について改善して欲しい。

（主な意見（受入環境の整備））

- ・自転車について、ニセコは一部では認知されてきているが、全国的な認知度はまだまだ低い。日本全体では、相当な自転車ブームがきていて、スポーツバイクユーザーに限らず、幅広いユーザー層に広がっている。サイクルツーリズムはニセコの観光振興の目玉として国内外へ進めていくべき。
- ・ニセコグリーンバイクの今後はどうなのか
  - （役場）有料化も含めた検討が必要。コンテンツとして悪いものではないので、どんな形かは別として継続していくことになると思う。
  - （委員）ニセコの地形を考えると電動アシストがあればいいが、稼働時間と重量の問題はある。
  - （委員）アルペンで電動アシスト付き貸出をしているが、時間の問題はかなり改善されているようだ。ただ、周知があまりされてなくもったいない。
  - （委員）自転車は事故が多く、リスクを考えると事業者としては二の足
  - （委員）歩道がない道路、特にパノラマラインを大型車で通行していると、自転車はコーナーなどで相当危険な状況。
  - （委員）専用コースができ、それをグリーンバイクで楽しめると最高。
  - （委員）自転車に乗って良いなあと思えるのは、有島・羊蹄エリア。有島記念館に自転車貸出所があれば、デマンドバスの利用とセットで楽しめるのでは。
  - （委員）マップ・サインの整備も必要。また、既存道路でもブリーチングや路面の凍上箇所、側溝の蓋などの改善で対応可能。

（２）ニセコ観光局について

事務局から、資料２に基づき説明

（主な意見）

- ・観光協会や役場組織の一体化ではなく、ニセコリゾートエリアとして考えることで目的が明確化されるのでは。
- ・「山の客のために関することは観光局が行う」ということで良いのでは。観光局で「じゃが祭り」、「ビュープラの維持管理」を行う必要はない。
- ・観光客は、リゾートエリアにまず来て、それから市街地に行く。全部だと無理があるのなら、まとまりやすいところから実施していく。訪れる観光客のための観光局として、現状、不便な部分を便利にしていく。

- ・地元のお祭りなど地域振興のためのものと、リゾートエリアの観光客のためのものの仕分けは必要。

### (3) 道の駅ニセコビュープラザの今後について

事務局から、資料3に基づき施設全体の再整備に向けた検討と滞留スペースの確保について説明。

#### (主な意見（施設全体の再整備）)

- ・和式トイレの割合が多い。今は決してそういう時代ではない。トイレの改修が必要。
- ・ほしい機能として、レストラン・ゆっくり休めるスペース・駐車場があるが、既存スペースで考えると無理がある。
- ・駐車場だけ増やしても施設の受入容量の問題もある。
- ・観光客の「道の駅＝食べる処」の期待度が高くなってきている。
- ・冬の入込が増えれば、店側も充実してくると思うが、店側の冬の営業努力も必要。
- ・冬に少しでも暖を取れるスペースが必要。  
→（委員）冬に品数が減るのであれば、直売会スペースを暖のとれる滞在スペースとして活用できるのでは。
- ・冬に生きる施設・仕掛けを当初から用意していく。
- ・改修・増築を超えるような施設整備は、当初設計のデザイナーと詰めて進めなければ、今のイメージが台無しになる
- ・道の駅の再整備と同時に綺羅街道のこともセットで。
- ・ハード面だけでなく、運用ルール・ソフト面の見直しも併せて行うべき。  
→（委員）ビュープラでの買い物が町内全体につながる仕掛けを。
- ・情報棟が店になっている。案内所として分りづらく、観光客は誰に聞けばいいのか分からない状況。パンフレットの置き方も工夫が必要。トイレ棟廊下をもっと情報提供スペースとして活かせるのでは。
- ・全国の道の駅の中でも良い駅となっているので、今の良さを失わないように進めてほしい。
- ・時期的に、施設全体の再整備に向けた検討を進めていく時期だと思う。

#### (主な意見（滞留スペースの確保）)

- ・現状では、イス・テーブルが少なすぎる。
- ・ちょっと休める滞留スペースは必要。ベンチセットは整備してほしい。なければ直ぐに帰ってしまう。
- ・滞留スペースができれば、そこでの情報提供もできる。
- ・ビュープラザなのでビューを楽しみながら食べたい。
- ・中庭からはどこからでも羊蹄山が見られ、滞留スペースとして活かせる。

#### その他

次回開催は、12月11日（火）18：30からニセコ町役場内で行うこととした。